

担い手育成特定資産事業 活動事例紹介 小笠原伸也さん(二戸市)

執筆者 二戸地方農林水産振興協議会(二戸農業改良普及センター) 加藤 真城

二戸市で野菜経営を開始した、新規就農者の小笠原伸也さんを紹介します。

就農以前、小笠原さんはスポーツ店に勤務していましたが、お子さんが独立されたのを契機に令和4年2月に就農しました。

現在は、ピーマン、ねぎの栽培に取り組んでいます。

元々ご両親が農家で、様々な野菜を栽培していましたが、ご本人は新たにピーマン、ねぎを導入したことから、「新規就農スタートアップ支援事業」を活用し、ねぎ管理機、白ねぎ定寸切機(ねぎ調製機)、中古ハウス2棟を導入しました。取材当日は、ねぎの収穫作業真っ盛りで白ねぎ定寸切機が大活躍していました。

以前から農業をやってみたいと考えていた小笠原さん。近々、他産業に勤務されている奥様とともに農業を営むことを予定しており、その際には規模拡大、新たな品目導入も検討しています。

今後のますますの活躍が期待されます。



白ねぎ定寸切機(ねぎ調製機)を使用中



ねぎを収穫する小笠原さん